



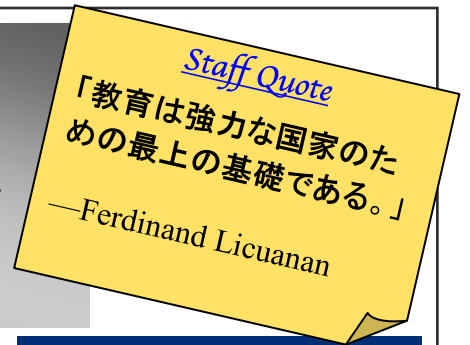
The Comet

The Newsletter of K. International School Tokyo

Volume 18 | Issue 1 | September 2014

➡ In this issue...

- ▶ 進入スタッフ紹介...p. 3, 4
- ▶ IBディプロマの結果...p. 6
- ▶ MYP新しい章の幕開け...p. 9
- ▶ 学習の秘訣...p. 10
- ▶ 2014-2015のLEAPについて...p. 13
- ▶ デング熱...p. 14
- ▶ Habitat for Humanity...p. 15
- ▶ スクールカウンセラーより...p. 16
- ▶ ケイ・インターナショナルブリススクール開校...p. 17
- ▶ 卒業生ニュース...p. 19
- ▶ 2014年度卒業生の進学実績...p. 20
- ▶ PTAニュース...p. 21



学校長より

皆様、休暇中にご家族やご友人との貴重な時間を楽しみ、ゆっくりと休養することが出来たことと存じます。また、こうして皆様を学校にお迎えできることを嬉しく思っております。9月に入り、保護者説明会も終了し、いよいよKISTの18年目に突入したことを実感しております。

多くの学校では夏休みのような長期休暇の後では、生徒達がこれまで学んできたことを忘れてしまっているというケースが見られるそうです。しかし、KISTでは違います。夏休み明けの8月に行った算数・数学力診断テストの結果を、5月に行ったものと比べると、嬉しくも誇らしいことに、生徒達がただ楽しい休みを満喫していただくだけでなく、算数・数学力向上のための学習や、復習を行ってきたことがよく分かります。8月に実施した全てのKey Stage学力診断テストの結果において、学校の期待値または期待値以上を達成した生徒の割合が増加しています。2018年までにDP平均点36点を取得するというKIST高い目標達成のためには、コミュニティの皆さん全てのサポートが必要です。8月の診断テストの結果は、この目標達成に向けた生徒や保護者の皆さんの強固な協力体制を反映したものだと感じています—皆さんの努力に感謝します！

先日の保護者説明会において、2014-15年度に学校がより良く変わるための多くの取り組みについて発表いたしました。そのひとつに、関係者の皆様がより良く学校の期待値を理解し、と、同時にこれら期待値に関する信頼性を向上させるために、期待値の明文化に関する方針を確立いたしました。学習に関しては、3年生から12年生に期待する成績について、上記文書のひとつであるKIST Progression Criteria and Graduation Requirements (KISTの進級基準及び卒業要件)を昨年度末にE-Communications (#298 on 06.17.2014)でお送りしています。KISTでは優先順位は学習にあります；現在、セカンダリーの生徒のクラブ活動への参加については、良好な成績を維持する(先学期の学習状況から判断)必要があるという方針のもとで許可されます。校内及び通学時に求められる生徒の行動・態度とその理由については、新しくなったKIST Code of Conduct (KIST行動規範)で明確に説明されています。私たち教職員が、お子さんのKIST期待値達成をサポートすることをご支援いただくためにも、是非Code of Conduct (KIST行動規範)をお子さんにご確認ください—本文書はすべての生徒に配布しておりますKIST Homework Diaryに記載されています。ただし、下記部分に関しましては、Homework Diary発行後に追加されたため、Diaryには記載されておりません：

生徒の安全と地域住民の皆さんへの配慮から、保護者に伴われていない全ての生徒は学校の敷地外に出た後、直ちに帰宅すること。

次のページに続く

DATES TO REMEMBER



September 2014

- 15 School day
- 15 MYP Information session for G6 and new parents
- 19-20 Staff development days (No school for students)
- 22-23 School holiday
- 24 PYP Information session for new parents (*Evening)
- 25 (W) Free dress day
- 27 (G9-G12) High school drama festival (Hosted@KIST)
- 29-30 School photographs

October 2014

- 5 World teachers' day
- 10 (G5) Day camp
- 13 School day
- 13 (E/S) Field Day
- 15 (G10) PSAT tests
- 18 School explanation day (for prospective parents)
- 20 2015-2016 new enrollment applications open
- 23 Last day of quarter 1
- 24 KISTival preparation day (K1-G5) No school for students (S) School day
- 25 KISTival 2014
- 26-Nov 2 Autumn break



前ページの続き

また、KISTにとって興味深いと思われることに、日本の雇用状況の変化があります。最近のNYタイムスの記事*によると、日本の中規模企業及び大企業Aの48%が外国人新卒者の雇用を検討しているそうです。これは数年前までたった20%台でした。この夏、私がカナダに帰省した際も、ダイキン、リンナイ、ToTo、カルビー、久光、森永等の日系企業のカナダでの台頭に驚きました。国際的な教育を受け、且つ日本語や日本文化に堪能なKISTの卒業生はグローバル化を推進する日本企業の関心を惹く人材に違いありません。

2014年度の卒業生の努力はまたも非常に印象的なDP結果に繋がりました。12年生の95%がフルディプロマに挑戦し、そのうち94%がディプロマを獲得しました。2014年度卒業生のDP獲得者の平均点は33.4でした。9月末までにはDP結果についての詳細と、卒業生の合格・進学先を学校ホームページのLearning > Diploma Programme タブからご覧いただけます。

KISTは今年も皆さんと協力し、学校目標の達成と、そのことにより生徒の可能性や機会を増やしていくことを目指してまいりたいと思っております。

皆様の日ごろのサポートに感謝するとともに、ご質問、ご懸念がございましたら、ご遠慮なく学校、または直接私にお問い合わせください。

Jeffrey Jones
Head of School



*<http://www.nytimes.com/2014/08/25/world/asia/japanese-companies-seek-international-graduates.html>

mission

K. International School Tokyo provides highly motivated children from diverse cultural and social backgrounds with a high quality education in a safe and nurturing environment to become competent and moral individuals who make meaningful contributions to our global community.

K インターナショナルスクール東京は、文化的社会的に多様な背景をもった意欲的な子どもたちに、安全で人をはぐくむ環境の中で、質の高い教育を提供し、国際社会に貢献する、人格的に秀でた有能な若者を育成する。

個人教師・家庭教師をお探しですか？

Khan Academyをご存知ですか？

始まりはSal Khanが全米に広がる友人やその家族に個人指導を行うために制作したビデオシリーズでした。ビル・ゲイツやメリンダ・ゲイツ財団を含む支援者からの寄付により、草の根的に始まったKhanアカデミーは、今や登録者1600万という大きな組織へと成長しました。

Khanサイトでは、小学生から大学生までのレベルに対応した算数・数学や理科・科学(そして他の様々な教科)のビデオ、オンライン練習問題、個人の統計的進捗管理や進捗に対する賞状などの優れた教材を無料で！提供しています。

算数・数学や理科・科学で追加サポートを求めている方々は、下記サイトで1600万人にユーザーが得ている情報に触れてみませんか？

<http://www.khanacademy.org>



TAKE JUST A
MOMENT AND
REMEMBER HOW
lucky
YOU ARE

ツイていると思ったら、 運試しをしませんか？

下記リンクをクリックして、アンケートに答え、IBロゴ付きのPCケースを獲得しませんか？一名につき、一回のみのエントリーです。

幸運を！☺

[Click here to enter the draw](#)



新入スタッフ紹介

KISTスクールコミュニティを代表し、2014-2015年度の新入スタッフに暖かい歓迎メッセージを送りたいと思います。皆様のご活躍を祈り、共に楽しい時間を過ごせることを願っています。

教員



Luke Callaghan
Preschool K3



Florent Debouverie
MYP Japanese



Caroline Jesuthasan
MYP Science /
DP Biology



Emma Justice
MYP/DP Art



Aya Kurosaki
Elementary K1



Paul Martin
MYP Mathematics



Aya Nishihara
Preschool
Nursery /
Art Instructor



Eri Ozawa
Preschool
Head Teacher /
Preschool K1



Kay Shinada
Elementary K3A



Aaron Smith
MYP English /
MYP Humanities



Akiko Takashima
MYP/DP Japanese



Andrew Tulk
MYP Mathematics /
MYP Technology



Ryan Van Loh
MYP Science



インストラクターとアシスタント



Campbell Boyd
Secondary
ELS Instructor



Thomas Chandler
Preschool Dance
Instructor



Julian Dave
Teacher's Assistant
Grade 1



Makiko Duran
Preschool
Music Instructor



Amber Guarente
Preschool
ELS Instructor K1

次のページに続く

前ページの続き



Sheyla Mattos
Teacher's Assistant
K2



Angela Oana
Teacher's Assistant
K1



Rosanna O'Connell
LMC Library
Assistant



Natasha Paterson
Elementary
ELS Instructor G1A



Julie Rochefort
Science Laboratory
Assistant



Evan Salzbrenner
Teacher's Assistant
K3



**Tamara Somers-
Harris**
Elementary
ELS Instructor K1



オフィススタッフ



Yukinori Honda
Operations Manager



Tsubura Kobayashi
Office Support Staff



Asumi Moroguchi
Accounts Support
Staff

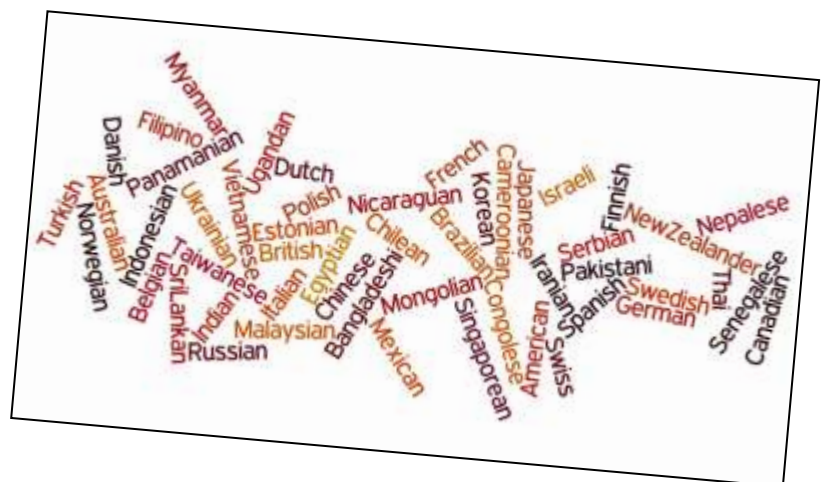


Yukiko Murai Jones
Preschool
Office Coordinator



生徒の国籍

今年、KISTに在籍する生徒の国籍は新記録となる51カ国にも上りました。右の表で自分の出身国を見つけられますか？



セカンダリースクールニュース

セカンダリースクール校長、Mark Coweよりご挨拶



KISTセカンダリー校長として初めてCometに寄稿できることを大変うれしく思います。皆様のお子さんが順調に新しい一年をスタートし、KISTでの毎日を楽しみつつ、多くのことを学ばれることを望みます。セカンダリーの校長としては1年目ですが、保護者の皆様の中には私をすでにご存じの方も幾人かいらっしゃると思います。また、これからより多くの皆様と知り合えることを楽しみにしております。

この場をお借りして、8月22日(金)に開かれたセカンダリーの第1回集会で全生徒に伝えたメッセージを皆様とも共有させていただきたいと思ひます。保護者説明会で保護者の皆様にお伝えいたしましたように、この集会で私の人生における真実、片足がもう一方より明らかに長い！ということを話しました。私は、私に関するこの事実を、人生において定めた目標に達成するために重要な忍耐力と決断力(集会では生徒に「闘志」という言葉を使いました)とその目標に向かい、学ぶ過程で必ず直面する困難や障害の一例として使いました。私は生徒たちに、困難や障害を前にして、やる気をくじかれたり、負けてしまったりするのではなく、それを受け入れる必要があると話しました。特にサポートが得られた場合、驚くべきことが成し遂げられるのですから。KISTでこの人生哲学がどのように奨励されているかの一例として、毎年すべての11・12年生がフルIBを目指してきており、

94%の生徒が最終的にふるIBを達成してきたことがあげられます。12年生のDP結果については本誌に、Mr Rose と Mrs Okude による詳しい記事が掲載されています。

もし、まだ私の足についての話をまだお子さんからお聞きになられていない保護者の方がいらっしゃいましたら、是非、お子さんにお聞きください！

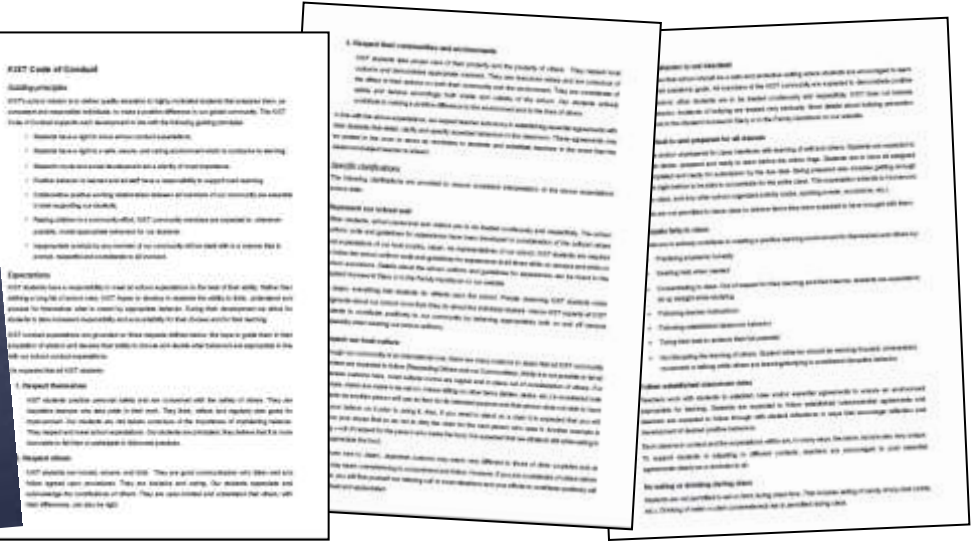
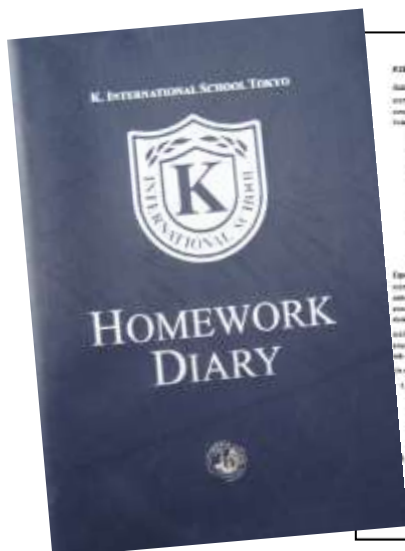
また、この紙面上で、皆様にこれから予定されているイベントと、学校の年間スケジュールの微細な変更点についてお伝えしたいと思います。今年はいくつかのセカンダリーの保護者説明会を祝日のあまり遅くない時間帯に設定いたしました。このことで、出来るだけ多くの保護者の皆様にご参加いただければ願っております。ウェブサイト上の年間カレンダーをご確認いただけるようでしたら、該当する保護者対象の説明会の日程をお控え頂けたらと存じます。更に、先日の保護者説明会でお話いたしましたように、学年単位の宿泊旅行・合宿予定が年間スケジュールに記載されております。皆様がこれをお読みになっている頃には、11年生はちょうどDPオリエンテーションキャンプから戻ったばかりかと思ひます。また、7年生の鎌倉・湘南地区での宿泊合宿が11月に予定されており、2015年5月には9年生の山梨または長野県で屋外でのアドベンチャーキャンプが計画されています。これらの新たな変更点は、コミュニティの皆様にも賛同し

ていただけると思っております。今年度の予定について皆様のご意見をお聞かせください。

私からの簡単なご挨拶の最後に、この記事の前半で触れたサポートの概念についてもう少しご説明させていただきます。夏休み中に、Homework Diaryに生徒と保護者の皆様に必要な全ての、そして最新の情報が含まれているか、多くの時間を費やし、確認作業を行いました。新しい情報として、学校が生徒に求める態度・行動について詳細に記載したKIST Code of Conductが含まれています。全体として、本校の生徒の態度及び服装は非常に好ましいものです。しかし、この期待値を達成・維持し続けるためにはホームルームアドバイザー、校長、保護者の皆様の継続した協力体制が不可欠です。そのため、お子さんの学年に関わりなく、全ての保護者の皆様にセカンダリーHomework Diaryに明記されている学校の期待値を及び各種情報をご確認いただきたいと存じます。

私からのメッセージをお読み頂きありがとうございます。今年度のイベントで多くの皆様とお会いできることを楽しみにしています！

Mark Cowe
Secondary School Principal



DPニュース

IBディプロマの結果 - 2014年7月

夏休み期間中に2014年度卒業生にIBディプロマの結果が公表されました。下記表は昨年度卒業生の結果と、2011年から2014年の卒業生の結果をまとめたものです。

卒業年度	12年生の人数	IBディプロマ取得生徒数	IBディプロマ取得者の平均	KISTの最高点*	世界平均
2014	37	33	33.41	43	TBA
2013	35	29	32	42	29.81
2012	17	14	30	37	29.77
2011	16	14	32	40	29.61

*最高得点: 45点

表が示すとおり、Class of 2014の努力の成果により、KIST平均点が世界平均を大幅に上回りました。更に、学年の35人がフルディプロマに挑戦し、そのうち94%である33名がディプロマを取得しました。ディプロマを受け取ることのできなかった2名の生徒もほんの1・2点足りなかっただけという非常に惜しい結果となりました。これら2つのカテゴリーにおいて、本校はIBが公表している世界平均を上回っています。IBディプロマを履修している生徒の50%未満の生徒がフルディプロマに挑戦し、そのうちの78%がディプロマ取得に成功しています。(IB, 2012)

もう一つ学校にとって重要な点としてあげられるのはClass of 2014のうち8名が合計39点以上の成績を収めることができたという点です。**Eun Ji**と**Abhinav**が39点、**Daniel**が40点、**Adam**が41点、**Min**と**Elizaveta**が42点、そして**Rio**と**Sashank**が43点というすばらしい成績を収めることが出来たことを、喜びとともにお伝えいたします。全体として、21名の生徒が30点以上のディプロマを取得しました。そして10名の生徒が、二つの言語を第一言語として学ぶ**バイリンガルディプロマ**を取得しました。

IBディプロマの結果についてより詳しくご覧になりたい方は<http://www.ibo.org/diploma/assessment/results/>にて“Statistical Bulletin”(統計)をご確認ください。2014年5月の試験結果の統計は10月から11月に公表される予定です。

この場をお借りして、生徒の皆さんのDPでの成功をたたえたいと思います。12年生を担当した教師の皆さんのご指導にも感謝いたします。

G11への創造性、活動、奉仕(CAS)の導入

今年度の始めから、11年の生徒達はCASについて、そして、IBDPのCAS要求である150時間をどのように達成するかについて学んでいます。生徒達はCASの下記プロセスを確認しました:

- ManageBacに活動案を提出
- 承認後、生徒は活動を開始
- 活動中、生徒はManageBacプログラムでの記録を行う
- CAS要求時間数を満たすため、ManageBacに振り返り文を記入・提出

今年度はMr Shun NakadeがCASコーディネーターが着任いたしました。上記写真で氏が生徒達にCASについての導入授業を行っているところをご確認いただけます。



John Rose
DP Coordinator
john.rose@kist.ed.jp



(IB, 2012) "IB DP Statistical Bulletin May 2012 Examination Session"



エレメンタリースクールニュース

2014-2015年度が始まりました。ケイ・インターナショナルスクールコミュニティ全ての皆様を心から歓迎いたします。

“ 教育の目的は空の心を開かれた心に置き換えることだ。
—Malcolm S. Forbes ”

私はこの言葉に大きな関心を覚えます。教育を、私たちはしばしば空の心を満たす事と捉えます。しかし、何で満たすというのでしょうか？知識？情報？事実？さて、心を開くには、情報を吸収し、処理し、日常生活に技術や知識を応用しなければなりません。これは困難でありながらも、何より価値のあることです。



探求的教育及び学習は、開かれた心・心を開くことを求めます。最上のプログラムは高レベルでの思考能力(HOTS)を促進します。高レベルの思考能力、略してHOTS、では思考を単なる事実の反復や置き換えでなく、さらに高い次元のものと捉えます。HOTSにおいては、私たちが自ら事実を処理することを求めます。私たちは事実を理解し、操作し、関連付け、分類し、新しい方法で使い、問題解決のために利用・応用しなければならないのです。

下記表は単純思考からより複雑な思考へと発展する階層(レベル)を表したものです。生徒達がエレメンタリースクールからセカンダリー(ミドルスクール)に進むにつれ、異なる思考方法を持つことが不可欠になってきます。学年を重ねるにつれ、教員も、生徒がこれまで頭脳に蓄積してきた情報を用いて、様々なことをすることを求めるようになります。



生徒すべてに高レベル思考力を身につけさせることがKISTの目標です。2014-2015年年度も子供たちと学び、未知の世界に向けて子供たちの心を開いていくための様々な活動を行うことを楽しみにしています！

Kevin Yoshihara
Elementary School Principal



PYPニュース

カリキュラムに欠かせない要素である概念

IBカリキュラムに沿っておこなう学習はエキサイティングで、やりがいのある冒険です。IBカリキュラムを他の学習方針から分ける点は多々ありますが、しっかりと概念的な枠組みとなる知識を固めることによって学習は最善な形で行われるという考えは特に、機械的な暗記を要するような学習法とは異なります。

概念は、各科目の範囲内において重要なアイデアであり、それを超越する力があります。生徒たちはこれを理解するために、自分たちが既に持っている理解力、知識を使い、更に掘り下げたレベルで概念を取り扱える力を身につけていく必要があります。概念を軸にしてカリキュラムを組み立てることで、世界共通で時代を問わないアイデアに着眼し、生徒が身の回りの世界を理解する手助けとなります。また生徒たちは学習分野の中で重要なアイデアやスキルを整理、記憶し、自分たちの知識に一貫性を見つけ出すことが出来ます。そしてなによりも大切なのは入手した情報を思考へと変え、子供たちは積極的にdoer(実行する人)やproblem solvers(問題解決が出来る人)になり、自分の思考のプロセスを見つめることができます。これは生徒と教師両方にとって魅力的なことで、生徒の生活や背景となる文化、また学校外の世界に直結しています。このような実生活とのコネクションは、勉強している内容以上に大きな何かを見出させ、授業で教えられているアイデアやスキルの大切さを強めます。

保護者の方々も、学校でお子さんが行っているユニット探求で学んでいる概念について質問していただけます。スクールイヤー中に、8つのコンセプト、**form(形成)**、**function(働き)**、**causation(因果関係)**、**change(変化)**、**connection(つながり)**、**perspective(視点)**、**responsibility(責任)**、**reflection(振り返り)**が授業のユニットで触れられていることを確認していただけたと思います。この概念を通し探求をおこなうことで、お子さんたちは身近な授業に取り組む力を強化するだけでなく、世界規模のアイデアや実際に起こっている情勢を理解する基盤を作る力を養っていきます。

Clay Bradley
Elementary School Vice Principal/
PYP Coordinator



5年生 美術館への遠足

5年生の今年初めての図工の授業は新宿の損保美術館への遠足でした。この遠足で生徒達は実際の美術品を目の前で鑑賞する機会を得ました。また、数人の生徒にとっては美術館に初めて足を踏み入れる機会となったようです。



展示はKinetic、動く芸術(多くは来場者との相互コミュニケーションの為に自動化されていました)と、視覚的な錯覚を利用した抽象芸術様式のオブ・アートを中心としたものでした。展示作品の多くは1960年代にイタリアの芸術家によって制作されたものでした。この美術館訪問は今年度最初の図工プロジェクトの出発点となると同時に、クラスの探求ユニット「私たちはどのように自身を表現するか」にも繋がります。



とても楽しい午後を過ごせたことを引率のクラス担任、Mr Grant、Mr ArchibaldそしてMs Rachelに感謝いたします。



遠足中の写真もお楽しみください。残念ながら(そして当然ながら)美術館内では写真撮影が禁止されているため、生徒達が美術品を鑑賞している所をご覧いただくことは出来ません。しかし、この数少ない写真は生徒達に楽しかった記憶を呼び起こさせるとともに、他方々には楽しかった遠足の一端を感じて頂けることと思います。

Miss Helen
PYP Art Teacher



エレメンタリーELS

皆さん、KISTにお帰りなさい。そして新入生とご家族の皆さん、ようこそKISTへ。私はエレメンタリーの英語サポート(ELS)コーディネーターのRachel Parkinsonです。新学年度をスタートするにあたり、言語についての重要事項2点を皆さんと共有したいと思います。



まず、皆さんも学校中に掲示されている「KISTでは英語を話します」というメッセージをご覧ください。英語は本校の共通語であり、主要な「指導言語」(大半の授業で学び・指導するために用いる

言語)でもあります。学校では、全員が会話、ゲーム、意思決定などに参加できるように、皆が理解できる言語を使用する必要があります。KISTにおいては、これは英語(そして日本語の授業・日本語の教師と話すときは日本語)を話すということです。また、必要に応じて子供たちがお互いに新しい英単語(または日本語の単語)を教え合う事にもつながります。私たちは皆異なる経験をしており、そのため、知っている・知らない言葉もそれぞれに異なります。そしてその違いがあるからこそ、全員が言語の教師として他者に新しい言葉をもたらすことが出来るのです。KISTの共通言語についてのメッセージはコミュニティ全員を対象としています。コミュニティ全員が理解でき、会話に参加できるような言語を選択し、使用するよう互いに協力していきましょう。

学校での使用言語については以上ですが、家庭ではどうでしょうか?皆様が保護者説明会で「EALファミリーサポート」情報を受け取られたことと思います。また、多くの方が昨年も本情報を受け取られたことでしょう。お渡ししたのは、著名な言語教育者であるBonnie Campbell Hillによる文献です。本情報を毎年繰り返しお送りするのは、皆様こそがお子さんの言語発達に大きな影響を与えることが出来るからです。ここで強調したいことは、「(英語以外の)母国語でお子さんに話しかけることは、お子さんの英語の習得を難しくすることはないということです。それよりも、第一言語のサポートがなかった場合、新しい言語の習得に7~10年近くかかることもあるのです」この文献は更にお子さんの概念理解能力及び総合的な言語能力を発達させるため、家庭でどのように第一言語を使用すればいいかについて詳細に説明しています。大切なことはお子さんと第一言語(家庭で主に使用する言語)で学校について話し、母国語でお子さんに読み聞かせをし、母国語で難しい概念を説明することです。

Bonnie Campbell Hillの文献をお持ちでない方、またはご質問がおありの方はご遠慮なく私にメールでご連絡ください。

Rachel Parkinson
Elementary ELS Coordinator
rachel.parkinson@kist.ed.jp



MYPニュース

新たなMYPの一年が変化と共に始まります

KISTのMYP(中等課程プログラム)は素晴らしいスタートを切りました。授業中、そして授業後も、生徒や教師たちは、若い学習者たちが世界と、自身の立ち位置や役割についてより良く学ぶための豊かなプログラムとその活動に従事しています。



G9の生徒がMs Christianと詩について学習しているところ

新しい章の幕開けです

MYPは変化を迎えています。今年度から、KISTでもNext Chapterと呼ばれる新たなプログラムに基づいた変更を導入しています。IBによって開発されたこの変化は、各学校が自身の生徒層やコミュニティとその状況に応じた調整を行うことができる柔軟性を備えています。皆さんもすでにその変化に気づかれたかもしれませんが、これからの2年間でさらなる実践が行われていきます。本プログラムの核となる要素-IBの学習者像と国際感覚へのコミットメント-は変わりませんが、同時に多くの改革も進められていきます：

● 教科名

学習される概念をより良く表すため、いくつかの新しい教科名が使われます。

⇒ Language A(言語A)がLanguage and Literature(言語と文学)に

⇒ Language B(言語B)がLanguage Acquisition(言語の習得)に

⇒ テクノロジーがデザインに

⇒ Humanities(人文)がIndividuals and Society(個人と社会)に

⇒ Physical Education(体育)がPhysical and Health Education(保健体育)に

● 評価基準

生徒、教員、保護者が生徒の達成度についてよりよく理解できるよう、全ての教科群で4つの評価基準を用います。これらの基準は8点満点で評価されます。各教科群はそれぞれの学習内容に最も適した評価基準を用いて評価されていましたが、このプログラム全体に共通の基準により、MYP全体を通した生徒の達成度がより明確になりました。

● グローバルな内容

MYPの単元はAreas of Interaction(相互作用のエリア)に基づいていましたが、本年度から、MYP単元は、6



G6の「個人と社会」単元のポスター

つのグローバルな内容についての探求となります。これらの探求は、個人の人格からグローバル化と持続可能性についてと、幅広い内容を含み、学習者が多くの概念と教科内容を結びつけていけるような枠組を提供します。

● 研修

9月19・20日に、すべてのMYP教員はMYPの変更点に関するワークショップに参加します。東京在住の経験豊富なIBワークショップリーダーであるQuincy Kameda氏がNext Chapterの変更点とその要求に従ったプログラム修正を行うべく、教員を指導していただきます。



G6の生徒たちが仲間からスパイクの仕方を学んでいるところ



Mr LeeがG6とG10のPHE(保健体育)合同授業で練習の指導をしているところ

次のページに続く

前ページの続き

新MYPコーディネーター



本年度のMYPコーディネーターはMr Rob Whiteです。Mr WhiteはKISTで4年目を迎え、KIST教員、生徒、保護者、そしてコミュニティがこの厳しいプログラムから最高の利益を引き出すための手助けをしてくださいます。また氏は年間を通して保護者を対象とした説明会を開催してください。これら説明会の第1回目は9月15日の15:00からMPRで行われます。本説明会はG6の生徒の保護者及びKISTに新しく入学された生徒の保護者の皆さんを対象に行われます。11月に予定されている説明会では、G10の生徒の保護者を対象に、MYP最終学年で行われるパーソナルプロジェクトについてご説明します。

MYPについてのご質問や、変更点についてお知りになりたいことがございましたら、Mr Whiteにメールでご連絡ください。
robert.white@kist.ed.jp



G6の生徒たちがPHE保健体育の授業でスパイクを習っているところ

2014入学説明会

2015 - 2016年度向け

KISTでは2015 - 2016年度入学希望者を対象とした入学説明会を行います。

アドミニスタッフおよび教師が直接皆さまからの様々な質問(入学手続き、カリキュラム、大学進学、その他学校生活全般について)に直接お答えいたします。

また、学校施設の見学もできます。

日時:

October 18, 2014 (Saturday)

セッションは2部制です:

- (1) English: 9:45 a.m. - 12:00 p.m.
- (2) Japanese: 1:15 p.m. - 3:30 p.m.

受付締切は:

October 17, 2014 (Friday)

要予約です!

www.kist.ed.jp

学習の秘訣

先を読む

あなたは学校で「ジェットコースターに乗って」いますか？ジェットコースター型勉強法(Rollercoaster study)とは提出期限直前に課題を終わらせるために徹夜をして、その後しばらくのんびり過ごし、また最後の最後で課題を期限内に合わせるために慌てて大量の時間を使う、という勉強方法のことです。前もって計画し、準備することで学校生活をもっとストレスの少ない、そして報われるものにすることができます。

先を読んで行動するためのヒントです:

1. **学習メモ:** それぞれのトピックの終わりにテストがあることや、試験に近いことがわかっている時は、宿題の少ない夕方(夜)に学習ノートや学習内容のまとめなどを始めましょう。まとめたものは必要なときに使えるよう、家でファイルなどにまとめておきましょう。
2. **課題:** 課題は、少しだけでもかまわないので、常に出された日のうちに始めましょう。要件を理解するようにし、わからない場合は次の日にすぐ先生に聞きましょう。最初の夜のうちに各ステップについてプレインストーミングをし、いつそれぞれのステップを行うのかについて簡単な計画をたてましょう。
3. **早めに助けを求める:** 「過去3週間の間にやったことがまったくわからない」という生徒ほど困ったものはいません。わからないことがあったらすぐに聞きましょう。先生への質問リストを教科書やコンピュータに付箋(ポストイット)で貼っておくか、携帯のメモに残しておきましょう。問題を積み上げずに、早く、頻繁に聞くようにしましょう。
4. **隣に座る人について考える:** クラスで誰の隣に座るかについてよく考えましょう。これは勉強の成果に非常に大きな違いをもたらします。生産的(有意義)な関係にある相手の隣に座った場合、お互いを励ましあい、授業に集中できるようお互い助け合えます。授業内容もよりよく理解でき、家での勉強量も減らせます。
5. **週単位で考える:** 忙しくなる時を先読みして計画する。夜に勉強ができない日や週末に予定が入ることがあらかじめわかっている時は、その前に勉強を終わらせられるよう、計画しましょう。常に忙しくなるときや、時間がなくなる時を予測して、問題を避けられるように計画しましょう。

今年は、下記サイトのユニットを通して、勉強をより効率的・効果的に行うことによってより良い成果を挙げる方法を学びましょう。

www.studyskillshandbook.com.au

KISTのアクセス情報は下記Moodle siteから入手できます。

<https://moodle.kist.ed.jp/course/view.php?id=30>

Jeffrey Jones
Head of School

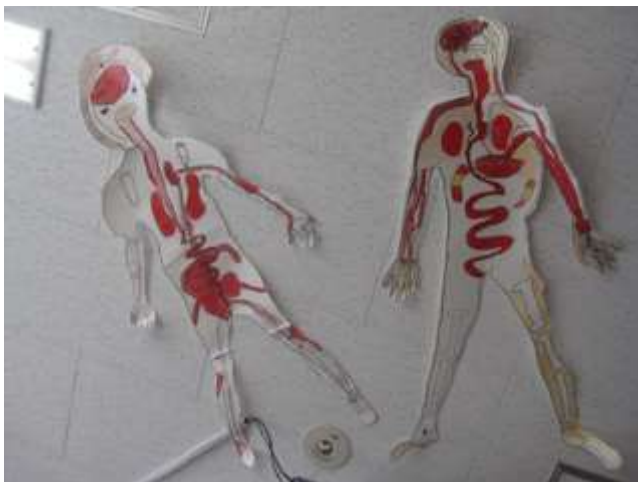


3年生の人体...

ライオン、トラ、そして人体...! ?

Who We Are(私たちはなんであるか)の単元で、三年生たちは5つの体組織;呼吸器官、消化器官、循環器官、骨組織、及び神経組織についての探求を行っています。「始めの一步」の課題として、生徒達は自身のこれまでの知識を用い、脳、心臓、内臓などを描きこんだ、自身の「人体模型」を制作しました。

ちょっと興味がわいてきませんか? 三年生の教室を訪ねて、天井を見上げてください。これら創造的で(そして精密でもある)人体像が皆さんを「お迎え」します。



オフィスアップデート

スクールIDカード

G1からG12までの全ての生徒及びすべての保護者(一家族1枚)には学校よりIDカードを発行・お渡ししています。またIDはデリケートな電子チップが含まれており、適切に扱われなかった場合、容易に破損する恐れがあります。破損を防ぐため、カードを硬いプラスチックの保護ケースに入れて使用されることを強くお勧めいたします。



入退校の際は常にカードをスキャンしてください。これはすでにゲートが開いている場合も同様です。

SSPの業務、説明会への参加の際など、学校を訪問される保護者の方は常に保護者IDを携帯し、ゲートでスキャンして頂けますようお願いいたします。

入退校の際、カードが正しくスキャンされていることを確認してください。IDカードが、他の電子カード(パスモやスイカ等)と同じカードケースに入っている場合、2枚以上の電子カードがOKな電子カード専用ケースの場合は以外は正しくスキャンされません。

IDカードが正しくスキャンされた場合は、短く『ピッ』と鳴ります。正しくスキャンされていない場合(音が確認できない場合)、入出退が記録されず本人の在校確認ができません。

正しくスキャンが出来ない場合は、メインオフィスにお持ちください。電子チップが破損している場合は再発行が必要になります。

第2回授業料締め切りについて

PAID 授業料(2回目)の締め切りは9月16日でしたが、お済でしょうか? 第3回目のお支払いは12月15日です。お忘れのないようにお手続きをお願い致します。

ランチオーダーの変更について

Join Me For Lunch



2015年1月以降のスクールランチについて変更をご希望の方は、冬休み前のスクール最終日の**12月12日までに**スクールランチ申込書(スクールのウェブサイトCommunity >> Formsページ)をスクールオフィスまでご提出してください。書類のご提出がない場合は、従前のランチが継続されるものとして処理され、それに基づき請求されます。

なお、スクールオフィスは時間帯により大変混み合います。そのため各種お支払いを現金でされる場合、お待たせすることとなります。なるべく銀行振込でのお支払いをお願い致します。

図書室ニュース

新学年度！新しい図書活動！

新任スタッフ

2014-2015年度を始めるにあたり、KIST図書室(LMC)の新任アシスタントのRosanna O'Connellをご紹介します。



あります。

簡単に自己紹介させてください。私の母は日本人で、父はアイルランド人ですが、私はロンドンで生まれ育ちました。2013年12月末に来日し、以来主人と生活しています。趣味はたくさんあるのですが、そのうちのいくつかをあげると、旅行、バドミントン、美術館巡り、カラオケ、お菓子作りなどが

KISTの図書チームの一員になることができ、とても興奮するとともに、これから楽しみに思っています。皆さんにお会いし、知り合う機会を楽しみにしています。今年度、図書館には新しい図書がたくさんありますので、是非LMCに来てください！

KIST図書館の活動

新年度はYatta! CardsとHungry Readers bookletを再び導入します。Yatta! Cardsは教室内外で、IB学習者像を体現した生徒に対し、教師から贈られます。Yatta! Cardsは生徒が図書室のカウンターにあるHungry Readers bookletsを完成することでも貰えます。生徒は読んだ本3冊毎に1つのbookletを提出できます。Booklet 1つがYatta! Card 1枚に相当します。本を読むほど多くのYatta! Cardsが貰えます。そしてYatta! Cardsが多いほど、KIST図書室からの素敵な商品を貰える機会が増えます。賞品を貰うためのくじ引きに参加したい人は**9月26日**までにYatta! CardsとHungry Readers bookletsを図書室に提出してください。



Due on
Sept. 26th



KIST図書館のこれからの活動予定

- ◆ 9月26日 - Yatta! Cardくじ引き
- ◆ 10月22日 - Shelfieエントリー締め切り
- ◆ 11月4日 - 本の登場人物パレード
- ◆ 11月5・12・19・26日 - DEARの時間

今年は**DEAR** (Drop Everything And Read: すべてを忘れて読みましょう)が帰ってきます。全校が、生徒、教員、学校にいらっしやる保護者、そして校長も、忙しい中時間を割いて、本、雑誌、新聞などから11月中の週1回「すべてを忘れて読書をしませう」。

この楽しいイベントの幕開けとして、エレメンタリースクールでは恒例の**Book Character Parade** (本の登場人物パレード)を開催します。読書の楽しみを共有するために、生徒と教員がお気に入りの登場人物の衣装を行うことが出来ます。4年・5年生は登場人物衣装大会にエントリーすることが出来ます。

また、今年からは教員も衣装大会に参加することが出来ます！お気に入りの登場人物に命を与えるために皆さんの想像力を活かしてください！

セカンダリースクールの生徒は今年のicaptureコンペにおいて**"Shelfie"**の提出も可能です。創造性に溢れた、お気に入りの本と自分自身の写真を取って応募してください！皆さんの**"Shelfies"**を見るのを楽しみにしています。最優秀の作品は賞品を獲得できます。**10月22日**までにShelfieをMr Andilに直接メールで送ってください。詳細情報はDaily Notices及び図書室のMoodleに掲載されます。

訂正とお詫び

前回のThe Comet掲載記事でセカンダリーのサクラメダルエントリーに誤りがありました。エントリー作品は現G12BのAishwaryaが制作したものです。KIST図書室からの訂正とお詫びを申し上げます。



図書オンラインサービス

KIST図書室と聞いて連想するものは何ですか？本？勿論本はたくさんあります。でもKIST図書館が24時間・週7日提供しているサービスがあるのを知っていましたか？



いつでも、どこでも、図書室Moodleから参考情報にアクセスできます。**BrainPop** ビデオ、**Britannica** 学校版、**Kids InfoBits**、そして長期間議論されている問題については**Oposing Viewpoints**を閲覧できます。これらには家で、学校で、そして世界中どこからでもアクセスできますーでも、締め切り前夜に課題に徹夜で取り組み事はお勧めできませんよ。

KIST図書室ではあまりにたくさんの楽しい事が行われているので、覚え切れないことがあるほどです。ご質問がございましたらいつでもご自由にエレメンタリー図書室やLMCにいらしてください。「**図書室は教室の延長**」だということを忘れないでください。また、メールでのお問い合わせも喜んで受け付けております (library@kist.ed.jp)。

The KIST Libraries Team

2014-2015のLEAPについて

KISTは、学業における成功は、すべての教科の基礎力となる言語及び算数・数学力の発達を高めることによって得られると信じています。



私たちは個々の学習ニーズに合った様々な学習方法を提供することで、生徒をサポートいたします。LEAPでは今年もいくつかの変更点を加えた、楽しいプログラムを提供いたします。この場をお借りして、変更点についてご説

明させていただきます。

朝LEAPの導入

可能な限り多くの生徒をサポートするために、下記クラスをピリオド0 (8:10 – 8:40 a.m.)に提供します。

- **エレメンタリー始業前英語サポートプログラム(K1-G5)**
生徒達はそれぞれの学年のELS講師が提供する、クラスのカリキュラムとKey Stageに沿った30分の小講座を受講します。週数日間短い授業を定期的に行うことにより、生徒達は必要な言語スキルを速やかに身につけます。

毎学期の始めに、受講が必要な生徒には教師より推薦状をお送りします。推薦状をお持ちの生徒には講座への優先権が与えられます。その他の生徒も受講可能ですが、英語のサポートが必要な生徒のみが受講を承認されます。

- **セカンダリーアカデミックライティング(小論文)プログラム(G6-G10)**
この講座の目標は生徒が様々な目的や設定に応じた文章の書き方・形式を理解し、論文スキルを向上させることです。受講生は各教科に必要な学術論文を書くためのスキルを向上させることができます。

本プログラムは現在Intensive English(集中英語講座)またはLanguage Acquisitionのクラスに在籍している生徒及び、最近IEやLanguage AcquisitionからEnglish A Language and Literatureに移られたばかりの生徒を対象としていますが、論文スキルの向上を望むすべての生徒が受講可能です。

放課後クラス

- **エレメンタリー放課後算数サポートプログラム(G2-G5)**
本プログラムは算数を困難に感じている生徒を対象としています。お子さんの算数の基礎力向上のために受講をお勧めいたします。

毎学期の始めに、受講が必要な生徒には教師より推薦状をお送りします。推薦状をお持ちの生徒には講座への優先権が与えられます。その他の生徒も受講可能ですが、英語のサポートが必要な生徒のみに受講を承認します。

- **エレメンタリー放課後英語発展プログラム(K3-G5)**

本プログラムは学年期待値に到達している生徒、または期待値以上を達成した生徒を対象に、通常授業から発展した内容を提供します。授業は教室で行われているものに関連していますが、生徒達は更に論理的思考力を駆使し作文・論文に磨きをかけることを求められます。

- **KIPS LEAPプログラム(G2-G5)**

多くの方がすでにご存知のように、2014年からケイ・インターナショナルプリスクール(KIPS)が開校いたしました。KIPSではG2からG5を対象とした様々な楽しい教育プログラムを提供いたします。詳細は数週間のうちにお知らせいたしますので、LEAPウェブサイトをお忘れなくご確認ください！



LEAPアンケート調査

この場をお借りして、昨年度末にLEAPアンケート調査にご協力くださいました保護者の皆様にお礼を申し上げます。アンケートの結果、下記2点を皆様特に期待されているということが分かりました。



まず、保護者の皆様はエレメンタリーLEAPで行われていることについてもっとよく知りたいと望まれていました。この希望に応えるため、LEAPでは学期を通しての生徒の学習内容をご確認いただくためのポートフォリオを提供いたします。これにより、保護者の皆様には授業内容とお子さんの英語・算数の進捗をご確認いただけます。ポートフォリオは毎月末の週末の間後確認いただけるよう、お子さんに持ち帰って頂きます。

もうひとつのご指摘は宿題についてでした。保護者の皆様からはLEAPからの宿題を求める声が多くあがっていました。今年から生徒の学齢に応じた宿題をお出しします。受講生は授業の一環として、期日までに宿題を終えることも求められます。

- K1-K2は講師の判断により必要と思われる場合のみ、宿題をお出しします。
 - K3には週1回の宿題があります。また、課題が授業時間内に終わらなかった場合にもお出しします。
 - G1-G5には週1-2回の宿題があります。また、課題が授業時間内に終わらなかった場合にもお出しします。
- アンケート調査は現在も受け付けておりますので、ご意見ご要望がございましたらどうぞご提出ください。

LEAP講師たちは今年一年はりきってお子様をサポートさせていただきます。LEAPプログラムについてご質問がございましたらご遠慮なくご連絡ください。

Anna Holdaway
LEAP Coordinator
anna.holdaway@kist.ed.jp



Staff 10!

今月のStaff 10!では2012年に、エレメンタリーの三年生担任として加入したJulia Lupone先生をご紹介します。

● 出身地について面白いことを教えてください。

うーん…どちらのことでしよう？KISTの多くの生徒達と同様に、私も国際的な生活を送ってきており、世界中の様々な場所ですべて生活してきました。そのうちのいくつかについてご紹介しますね：

英国、イプスウィッチ—1902年に世界初の商業用芝刈り機が製造されたところ。/**ドイツ、ベルリン**—1989年11月9日にベルリンの壁崩壊を直に目撃した場所。/**バージニア州、ブラックスバーグ**—世界最古の川のひとつである「ニューリバー」が流れる町。この川は世界でも珍しく、南から北に向かって流れる川でもあります。/**ペンシルバニア州、ピッツバーグ**—ハイツケチャップとバナナ・スプリットが生まれた場所で、世界中のどこよりも多くの橋を架けている町。/**マルタ島**—聖書によると、聖パウロが紀元前60年にここで座礁したそうです。/**日本、東京**—ここに住むのは三回目ですが、まだ日本語が上手に話せません…

● 世界で一番好きな場所はどこですか？

ポルトガルのマデイラ諸島とアメリカ領ヴァージン諸島のセント・ジョン島です—両方とも、私が一番好きな屋外活動であるハイキングや、ビーチで過ごすのに最適な場所です。

● チャンスがあったら会ってみたい人は誰ですか？その理由を教えてください。

Theodor Seuss Geisel (セオドア・スース・ガイゼル) — “Dr. Seuss” (ドクター・スース) です—彼に会ってどのように彼の著書を創り出したのか、彼のキャラクターや作画の着想をどこから得たのかを是非聞いてみたいです。

● 何か特別なスキルやタレントをお持ちですか？

これが技術や才能にあたるのか分かりませんが、踊りながら料理をすることを楽しんでいます(時々これを同時進行で行っているので、才能と呼べるかもしれません◎)。

● ご自身についてあまり知られていないことを教えてください。

“Lupone”というのはイタリア語で「偉大な狼」という意味で、これは結婚前の名字です。結婚後の名字は“Welsh”と言うのですが、2年前の来日の時までに変更が間に合わなかったのです。

● あなたにとって一番の宝物は？

厳密には「物」ではありませんが、家族を一番大切に思っています。色々な所へ引っ越すにつれ、多くのものをなくしたり、後にしたりしてきました。私の主人も多くのものを置いて、私と地球の反対側に来てくれました。私の両親は、私が必要としたときに多くの助言と支援を与えてくれました。これらのことすべてが、家族を物理的な物よりも「価値ある」ものにしてくれるのです。

● ご自分を言葉で表現すると？

創造的、正直、決然とした、信頼できる



海、砂、ヤシの木と...
Ms Lupone



● もう一度人生をやり直せるとしたら何か他のことをしたいですか？

いいえ。多くの場合において、人生で間違えることがなければ、学ぶことができないと考えます。私の義母は次のマントラ・真言を私に教えてくれました、「変えることが出来なことを私が受け入れることが出来るための心の平静を；変えることが出来ることを変えられる勇気を、そしてその違いを知ることが出来る知恵をお与えください」。私はこの言葉を支えにして生きています。

● 自分を高めるために今やっていることは？

「今」に集中する—そして一日一日を精一杯生きることです。次に起こるかもしれないことを期待・心配したり、すでに起きたことを後悔したりすることはあまりに簡単で、やってしまいがちなことです。

● ファンに一言お願いします。

Carpe Diem「今を生きる」◎

保健便り

デング熱

2014年8月末、日本でデング熱の感染者が確認され、感染者の多くは代々木公園で蚊に刺された後に発症したと報道発表がありました。



デング熱はデングウイルスが原因の感染症で、蚊によって媒介される熱帯感染症の1つであり、人間同士の直接感染は起こりません。4～8日の潜伏期間ののち急に高熱、関節筋肉痛を発生し、頭痛、嘔気、嘔吐、ついで顔面、手などに麻疹様の発疹が現れ、間もなく熱は下がります。ほとんどの場合は問題なく順調に回復します。致死率は1～2%で、デングウイルスに感染しても8割は無症状といわれています。

デング熱の感染拡大防止のため、2014年9月4日、東京都は代々木公園の一部閉鎖を発表しました。閉鎖となるのは代々木公園A地区(中央広場や噴水池がある地区)。この措置に伴い、A地区にあるサイクリングセンター、駐車場、売店も閉鎖となりました。他にも徐々に都内では閉鎖措置がとられる公園が出ています。

ご家庭での予防としては、蚊に刺されないように虫よけスプレーを活用する、長袖、長ズボンを着用する、殺虫剤を使用するなど、また蚊の繁殖を防ぐために、タイヤにたまった水など、屋外の水を放置しないなどの工夫が重要になります。

媒介蚊のヒトスジシマカの活動期間は、10月下旬ごろまでで越冬できないため、日本国内でのデング熱の感染は一過性のもと考えられています。過度に恐れる事はありません。



Makiko Whittaker
School Nurse

Habitat for Humanity

Habitat for Humanityとは?

Habitat for Humanityは1976年に設立された、世界中で活動を行う非政府組織です。本組織は「シンプルで、見苦しくなく・適正で、且つ手ごろな」家を建て、人権を保護することを目的としています。

Habitatで行われているプログラムは多数ありますが、もっともよく知られ、KIST生が参加したのは海外建築ボランティアプログラム(Global Village Program)です。世界中の学生たちが、Habitatの活動する世界の様々な地域に赴き、Habitat本体からのボランティアの助けも受けながら、必要とする人々に家を建てて活動を行います。

Habitatのビジョンは:「すべての人が適正な住居を持つ世界に」です。

私たちが行ったことは?

2014年のHabitat for Humanityの準備として、資金集めのために、2つの資金調達活動を組織しました。そのうち一つは、KISTへの入学を検討されているご家族対象の説明会でのホットドッグ販売でした。2つ目の資金調達活動は、KISTivalです。この活動にはいくつかの部門がありました。パン菓子のデコレーション、美術工芸、そしてbald votingです。今回のHabitatの活動旅行は実際に家を建てる「ワーキングデイ」と、もう少しリラックスして行える、訪問国の文化を知るためのオリエンテーション活動の二つを行いました。平日は2つのグループに分かれて、各グループ1件ずつ、2件の家を建てました。毎日、建設現場にトラックで移動し、全体で指示を受けた後、グループに分かれて行動しました。仕事内容はかなり体を酷使するもので、レンガ積み、壁作り、穴掘りなどを6時間に亘って行いました。しかし、地元の作業者の皆さんの協力もあり、作業はスムーズでした。そして、作業の後の昼ごはんは最高でした。生徒達と、教員、地元の家主(予定者)とのコミュニケーションが円滑に行われたことで、非常に強い絆が結ばれました。

オリエンテーション活動は週末に行われ、買い物や、ホテルのプール、Toba湖で過ごした事はとても楽しい経験でした。周囲の環境はすばらしく、厳しい活動の疲れを癒せました。その中でも、皆が特に楽しんだ活動の一つはバナナボートとスピードボートでした。しかしながら、それにもまして、作業に戻った生徒達の笑顔を見るのは何にも変えがたい喜びでした。



献納式



KISTチーム

活動の感想



Rina (G12B):「Habitat for Humanityに参加できたことは私の人生でも最も素晴らしい経験のひとつでした。私たちはインドネシアのコミュニティに貢献し、家を建てただけでなく、そこに住む人たちのことを知り、その文化についても学べました。このことは私のボランティア体験をより意義深いものにしてくれました。なぜなら、私が建てている家に住む家族のことを好きになることが出来たからです。Habitatの旅行の大部分は長時間の作業に占められていましたが、インドネシアとその文化を土地の食事を味わったり、買い物をすることで楽しむことも出来ました! すべてが素晴らしい、人生観を変える経験でした!」



Kanoka (G12A):「この旅で、私は自分を取り巻くものすべてへの感謝と、すべてがあって当たり前のものではないということ学びました。このような素晴らしい機会と、かけがえのない仲間たちの一員として活動できたことに心から感謝します。」



Anna (G12B):「今回のHabitat for Humanityの旅は私たちすべてにとって特別なものとなりました。外国で家を建てることは本当に大変でしたが、私達とは異なる環境にあるインドネシアの人々の暮らしを垣間見ることができ、彼らの文化も学ぶことが出来ました。私はこの旅行で仲間たちとより強い関係を築くことが出来たとともに、個人としても成長することが出来たと感じています。この旅行のすべてが完璧であり、これ以上のチームを望むことは出来なかったと思います。」

前ページの続き



Vigi (G12B):「この旅行は忘れられないものになりました。他の誰かの人生に貢献することが出来たということは自分にとって大きな誇りとなりました。この経験で、さらに大きな世界に触れることができ、自分の人生が（IBがあるにもかかわらず）、一回の食事を得るために必死で働かなければならない人たちに比べ、いかに甘いものであるかを理解することが出来ました。」



Prakhar (G12B):「人として、私たちは生涯数え切れない旅に出ます。毎日の通勤・通学であれ、家族旅行であれ。「旅」という言葉は2通りに解釈できます：1つの地点から他の地点への移動と、個人の成長のプロセスです。この2つの意味を同時に深い意味で経験することが出来るのは人生でも稀なことです。そして間違いなく、今回のインドネシアへのHabitat for Humanityの旅はそのひとつでした。日本を発った時、私たちは人道的な援助を行うために赴く学生でした、日本に戻ったとき、私たちは人権の真髄に関するより広い視野を身につけていました。」



第一現場の1日目



スクールカウンセラーより

2014-2015新学年度にようこそ。新たな一年が始まって数週間がたちました。皆さんが順調に新たな一年のスタートを切れたことを望んでいます。

今年はカウンセラーの役職をKISTエレメンタリーの副校長であるMr Bradley とともに担ってまいります。Mr Bradley は主にエレメンタリーの生徒達を担当し、私はセカンダリーの生徒達を担当してまいります。

今号では、私の役割についてと、生徒がKISTのカウンセリングサービスをどのように利用できるかについてご説明いたします。

生徒福利カウンセラーは何をするのか？

生徒福利カウンセラーは生徒の社会的、精神的、及び学習上のニーズを支援します。生徒が問題や不安を抱えている場合、カウンセラーは生徒の話を聞き、その上で生徒とともに解決策を講じます。

下記のようなとき、生徒はカウンセラーとの面談を希望するかもしれません：

- うまく友達を作れない
- 学校に来たくない
- 落ち込んだり、落ち着かない気持ちになったりする
- 家族のことで不安や問題を抱えている

不安や問題を一人で抱えていると、身体や精神の健康に影響を及ぼしてしまうかもしれません。お子さんに是非、家族・友人・教員や周りの人に相談するように伝えてください。

どうすればカウンセリングサービスを受けられるのか？

セカンダリーの生徒は昼休み中いつでもカウンセラーのオフィスを訪ねることができます。オフィスは本館の3階にあります。昼休み以外にカウンセラーと話したい生徒は、nanami.komaki@kist.ed.jpに予約メールを送るか、直接私に話に来てください。昼休みにただおしゃべりをするためにオフィスに立ち寄ってくれるのも歓迎します。

お子さんについてご不安や、懸念点がございましたら、どうぞ遠慮なく私にご連絡・ご相談ください。今年一年KISTコミュニティの皆さんと協働できることを楽しみにしております。



Nanami Komaki
Student Welfare Counselor



ケイ・インターナショナルプリスクール開校！

スタッフの協力のおかげで、短い準備期間にもかかわらず、クラス内外の家具や備品設置また華やかなデコレーションを済ませ、2歳～5歳までの子供達を無事迎えることができました。

KIPSではKISTや他のインターナショナルスクールへの進学をスムーズに迎えられるようプログラムを構成しております。子供達にしっかりしたベーシックスキルを提供する事をはじめ、学習経験を通じて自立心を育てています。楽しく、魅力的なカリキュラムは初歩的な計算の基礎学力や色や形の認識をはじめ、運動技能の習得や初歩的な読み書き能力を目標として設定しています。また、アート、音楽、ヒップホップダンス等のプログラムにも力を入れています。また、子供たちは倫理的に物事を考え、テクノロジー（コンピューターなど）スキルや語彙の発達や社会能力（社交性）を学びます。

2週間が過ぎ子供達も少しずつ慣れてきたようで、子供たちが毎日プリスクールへ通うことを楽しみにしているとの声を保護者の方から聞き、先生をはじめ事務所スタッフも皆喜んでます。

9月の中旬からはいろいろなアフターリープのプログラムもスタートし、新たな楽しみが増えそうです。KIPSでKISTの子供たちと会えるのを楽しみにしています。ケイ・インターナショナルプリスクールの更なる情報はホームページをご覧ください。

<http://www.k-preschool.jp>

KIPSスタッフ一同



カレッジガイドスニュース

夏休みの間にわくわくするニュースが届きました。そのなかのいくつかをご紹介しますと思います。

2014年度卒業生の国別進学先

- G12在学中に大学に出願した生徒: 33名(2014年度卒業生37名のうち)
- 2014年秋から大学に入学する生徒: 27名
米国: 10、日本: 7、英国: 5、カナダ: 4、オーストラリア: 1
- 卒業後に大学に出願している生徒: 7名
日本: 3、韓国: 2、オーストラリア: 2
- ギャップイヤーを選択した生徒: 3名

2014年度卒業生の9割が12年生在学中に大学に出願しました。そのうちの8割以上が、それぞれの合格した複数の大学の中からひとつを選んで、今年の秋(8月の終わりから10月にかけて)から大学に進学します。上の表にあるとおり、今年の卒業生の国別進学先としては、アメリカがもっとも多く、次に日本、イギリス、カナダとなっています。アジア太平洋地域ではオーストラリアと韓国は3月入学、日本では4月入学と大学開始時期と出願時期が異なることから、KISTを卒業してから出願書類を送っている生徒が数名います。すでに夏の間には韓国の延世大学医学部とカソリック大学校医学部の両方に合格し、来年3月に延世大学医学部に進学することを決めた生徒もいます。2014年度卒業生の合格進学先リストは20ページをご覧ください。

日本の大学で国際バカロレア特別入試がはじまりました

KISTでは日本の大学への進学を希望する生徒が増えていますが、これまでは選択肢が少なく、英語で授業を提供しているいくつかのコースに限られていました。日本語で授業を行っている日本の大学の通常のコースに入学するためには、日本国籍の場合は独立行政法人大学入試センターの「センター試験」、外国籍の場合は独立行政法人日本学生支援機構の「日本留学試験(EJU)」を受けたり、さらに大学独自の筆記試験を受けたりする必要がありました。これらの試験は日本の文部科学省が認定した日本の高等学校教育課程に準拠しているため、国際バカロレアのカリキュラムとはまったく違った内容となっており、当校の生徒が進学を希望する場合は卒業後に日本の大学の入学試験のための受験勉強に相当の時間をさかなければなりません。ところが最近、日本の教育界でIB教育がたいへん注目されるようになり、いくつかの有名大学が国際バカロレアの生徒のための特別入試をはじめることになりました。たとえば、国立大学

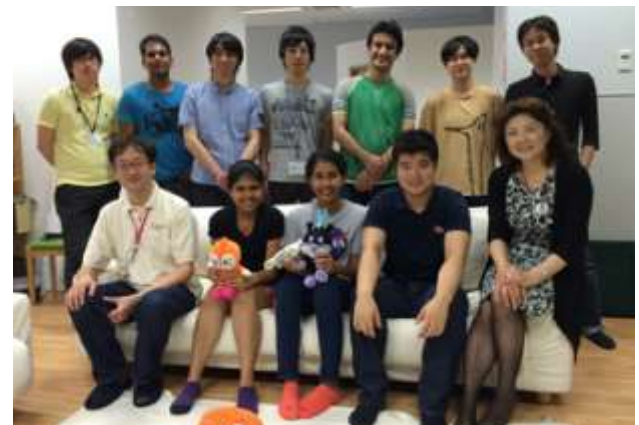
のトップ校のひとつである筑波大学は2015年4月入学から医学部を含む全学部で国際バカロレア特別入試を始めました。同大学の医学部を受験するためには日本語母語話者または日本語Bのハイレベルと数学ハイレベルを履修し、物理、化学、生物から少なくとも2科目をハイレベルで履修しているという条件があります。また、同じく国立大学の岡山大学では、医学部を含む全学部で国際バカロレア入試(AO入試)を行っています。医学部出願には日本語A、数学とサイエンス2科目(物理、化学、生物から選択)のうち少なくとも1科目はハイレベルという条件がついています。私立大学でも慶應大学法学部、立教大学経営学部、武蔵野大学全学部、玉川大学全学部などで同じような入試をとりいれています。このトレンドは今後さらに続き、IB生徒の日本の大学進学の見込みがますます増えることが期待されます。

KISTがSATのテストセンターになりました

SATのスコアを出願書類の一部として大学に送る必要のある生徒に朗報です。もう他の学校にわざわざ行かなくても、KISTで試験を受けることができるようになりました。SATのウェブサイトからテストセンターとしてKISTを選ぶだけです。登録の際に何か問題が生じた場合は、奥出までメールで知らせてください。

慶應大学での夏季インターンシップ

今年の夏もKISTの3人の生徒が慶應大学大学院メディアデザイン研究所(KMD)でインターンシップをしました。Tatsuya (G12A)、Aishwarya (G12B)、Keerti (G12B)は、同研究所の稲見昌彦教授、南澤孝太准教授、杉浦裕太特認助教のご指導のもと、修士課程、博士課程の大学院生とともに慶應大学日吉キャンパスとお台場の日本科学未来館にある研究室で数週間を過ごし、特別プロジェクトに参加しました。



前ページの続き

イベント情報

大学フェア (一般公開)

- Saturday, September 13, 12:30-17:00, **America Expo 2014** (秋葉原UDX Galleryにて)
<http://americaexpo.jp>
- Tuesday, September 16, 18:00, **Brown University and University of Pennsylvania** (聖心インターにて)
RSVP:
<https://key.admissions.upenn.edu/register/tokyo>
- Sunday, October 12, 11:00-18:00, **オーストラリア留学フェア2014** (御茶ノ水ソラシティにて)
<http://afuee.jp>
- Saturday, October 25, 13:00-18:00, **英国留学フェア2014** (秋葉原UDX Galleryにて)
<http://education-uk-fair.jp>
- Sunday, October 26, 13:00-18:00, **beo留学フェア** (新宿 Lタワーにて)
<http://www.beo.co.jp/fair/english/index.html>

KISTでの大学説明会 (LMCIにて)

(KIST生徒と保護者向け)

- Thursday, September 19, 3:45, **Northeastern University, University of Colorado Boulder, University of Iowa and University of Missouri** (USA)
- Tuesday, October 7, 3:45, **Hendrix College** (USA); **Laureate Hospitality Education** (Switzerland)
- Thursday, October 9, 3:45, **Queensland University of Technology** (Australia)
- Friday, October 10, 2:45 (G11 Advisory), 3:45, **The Cooper Union** (USA)
- Wednesday, October 15, 3:45, **SCAD: the University for Creative Careers** (USA)
- Thursday, October 23, 3:45, **University College London; SOAS University of London** (UK)
- Monday, November 3, 2:45, **Pratt Institute; Suffolk University** (USA)

PSAT at KIST (G10は全員、G11は任意)

Wednesday, October 15 通常授業時間内に実施 (詳細はPSATに関するお手紙をご覧ください。)

Mrs Keiko Okude

College Guidance Counselor

Office hours: Mon, Tue, Thu, Fri 10:00-17:00

keiko.okude@kist.ed.jp

卒業生ニュース

KIST alumni talks

Airi (Class of 2013)が8月19日(火曜日)のG11アドバイザリーの時間を訪れ、オランダのフローニンゲン大学での経験を紹介くれました。同大学で心理学を専攻している彼女は、三分の一近くの生徒がドロップアウトした(!)という、一年目を無事終了しました。ヨーロッパ大学の出願の方法や、大学キャンパス内外でのエキサイティングな生活について話してくれました。

Rishab (Class of 2013)が9月5日(金曜日)のG11アドバイザリーの授業で、彼が経営学の学位を目指して勉強しているロンドンスクール オブエコノミクスのプレゼンをしてくれました。昨年夏からの自身の経験をもとに、IBの生徒がこの英国でもトップクラスの大学に入学するために何が必要なのかについてや、彼が楽しんでいるロンドン中心街での多忙な大学生活について話してくれました。



Rishab

Airi, Rishabありがとうございます。それぞれの大学での引き続きの活躍をお祈りしています!

Carmina (Class of 2010)が今年の6月3日にプリンストン大学の工学部(オペレーションリサーチアンドファイナンス専攻)を卒業し、卒業論文で同大学工学部のAdmiral Angas W. Mack Memorial Prize Awardを受賞しました。現在ニューヨーク ウォール街のBlackRock社でアナリストとして働いています。彼女はすでにイェール大学大学院とマサチューセッツ工科大学(MIT)大学院のMBA(経営学修士)プログラムに合格しており、二年後にはそのどちらかに進学する予定です。おめでとうCarmina!



Carmina

Mrs Okudeのニューヨークとプリンストン訪問



Chaitanya

ゴールデンウィーク休暇中に、ニューヨーク大学とプリンストン大学を訪問する機会があり、ニューヨーク大学では**Chaitanya (Class of 2013)**、プリンストン大学では**Carmina (Class of 2010)**に会い、楽しいひとときを過ごしました。

Mrs Keiko Okude

College Guidance Counselor

keiko.okude@kist.ed.jp



KIST 2014 年度卒業生の 進学実績

イギリス

Ashton University
 Durham University
 King's College London (2)
 Kingston University
 London School of Economics and Political Science
Queen Mary University of London (2)
 Roehampton University
University of Birmingham
University College London (3)
 University of Edinburgh (3)
 University of Exeter
 University of Leeds
University of Liverpool
 University of Nottingham
 University of Surrey
University of Westminster
 University of West England, Bristol

アメリカ合衆国

Birmingham Southern College*
Boston College*
 Boston University*
Florida Institute of Technology*
George Washington University* (2)
Lynn University
Midwestern State University*
New York University*
 Northeastern University* (4)
 Pacific Lutheran University* (3)
 Pennsylvania State University
 San Jose State University
Soka University of America*
 Syracuse University
 UC Santa Cruz
 University of Hawaii at Manoa
 University of Iowa

University of Oregon* (3)
 University of Wisconsin, Madison

カナダ

University of British Columbia* (7)
McGill University* (2)
 Mount Allison University*
 Simon Fraser University
 Trent University*
 University of Northern British Columbia
University of Toronto*
 University of Victoria*
 York University

日本

Akita International University
 International Christian University (2)
 Ritsumeikan Asia Pacific University
 Sophia University, Faculty of Liberal Arts (6)
Waseda University, Advanced Science and Engineering (2)
Waseda University, Political Science and Economics*
Waseda University, School of Liberal Studies (4)

韓国

Korea Advanced Institute of Science and Technology
 The Catholic University of Korea, School of Medicine
Yonsei University, College of Medicine

香港

University of Hong Kong

オーストラリア

Sydney Institute of TAFE

*は奨学金つきでの合格校です。

(カッコ内の数字は合格者数です)

赤字は2014年秋、または2015年春の入学校です。

PTAニュース



We are KIST PTA!!!

これまで、皆様の協力によって、沢山のイベントやスクールのサポートを行ってることが出来ました。

この場をかりて、改めて、日頃のご理解・ご協力にお礼を申し上げます。

今年度のPTA役員会は下記のとおりです。

会長

Mika Shindo



副会長

Jun Hirano
Shinichiro Kawamatsu



会計

David Halphen



書記

Jessica Suzuki



今年は、PTA発足以来 初めて、大部分のエグゼクティブ・メンバーが変わりました。

発展途上の私達ですが、繁栄する学校のコミュニティ作り、子供達の教育的な経験を豊かにすべく頑張ることをお約束します。

今年の私たちのmottoは、『simple and fun』です。

よりよいイベント・環境作りのために、皆さんのお力を貸してください。

PTA活動に興味のある方は、是非私たち宛 (pta.executive@family.kist.ed.jp) にメールをください!

私たちは引き続き、様々なコミュニティでメンバーを募集中です。皆さまの積極的なご参加をお待ちしています。さまの積極的なご参加をお待ちしています。

Mika Shindo
PTA Executive Committee

ライブラリー・コミティー・ニュース 2014年 秋

今年のテーマは「保護者と図書室」です。*研究によれば、10～16歳の子供は親が読書している姿を見て読書の習慣がつくと言われていました。また、親が楽しく読書していると子供もさらに読書し語彙力がつくとも言われています。

是非、保護者の方々に図書室で本を借りていただきたいと思っております。お子様の名義で10冊まで借りることができます。ご利用時間は(火)～(金)の3:40～5:00 p.m. (=授業で生徒が利用した後の時間帯)です。LEAPやクラブでお子様を迎えに来たときや、放課後何かの拍子でキャンパスを訪れたときは是非図書室にお立ち寄りください。小学生の場合、保護者の同伴なくお子様だけで放課後の図書室利用はできませんのでご注意ください。

スマートフォン、タブレット、PCからKISTの図書データベースにアクセスし、本のタイトル、著者、テーマで検索することができます。

やり方はKISTのホームページから[リンク]→[LMCクイックリンク]に進み、“Destiny Web Path Express”の下の空欄に「著者」「テーマ」または「タイトル」を入力し“Search”をクリックしてください。

<http://www.kist.ed.jp/node/294>

“Scholastic Book Club”も人気です。ここで本を購入すると図書室の新たな本の購入基金に加算されます。

Library Committeeのことをもっとお知りになるには是非メルリストに加わってください。Rebecca Yarita (p-1022@family.kist.ed.jp) までご連絡お願いいたします。図書室の活動やイベントに関する最新情報が配信されます。どうぞお気軽にご連絡ください。

継続して図書室を援助してくださっているKIST Communityに多大なる感謝をいたします。

読書しましょう!

Rebecca Yarita (G7, G2)
図書委員長

*家での読書に関する研究 (英語のみ)

<http://www.cls.ioe.ac.uk/shared/get-file.ashx?itemtype=document&id=1719>

